

淡江大學日本語文學系・村上春樹研究室
2014 年度第 3 屆村上春樹國際學術研討會

08:20—08:45	報 到		【3 樓驚聲會議廳】
08:45—09:00	開 幕 式 致詞人：吳 錫德（淡江大學外國語文學院院長） 馬 耀輝（淡江大學副教授兼系主任）		【3 樓驚聲會議廳】
09:00—09:40	基 調 演 講(1) 主持人：林 水福（南台科技大學教授） 講 者：柴田 勝二（東京外國語大學教授） 講 題：交通する情報と人間—村上春樹におけるメディアム— 口 譯：王 憶雲（淡江大學助理教授）		
09:40—09:50	茶 敘 時 間		
09:50—10:45	第一場 論文發表		【3 樓驚聲會議廳】
09:50—09:55	主持人：賴 錦雀（東吳大學教授兼院長）		
09:55—10:15	發表者①：落合 由治（淡江大學教授） 題 目：村上春樹の描写表現の機能 口 譯：侯 元達（淡江大學碩士生）		
10:15—10:35	發表者②：楊 炳菁（北京外國語大學副教授） 題 目：「象が平原に還った日」と「美しい言葉」—村上春樹文体の背後— 口 譯：陳 羿潔（淡江大學碩士生）		
10:35—10:45	討 論 時 間		
10:45—11:40	第二場 論文發表 【3 樓驚聲會議廳】	第三場 論文發表	【T311 教室】
10:45—10:50	主持人：范 淑文 （台灣大學教授）		主持人：楊 錦昌 （輔仁大學副教授）
10:50—11:10	發表者③：森 正人 （熊本大學名譽教授） 題 目：村上春樹初期作品の内界 表象 口 譯：陳 奕潔（淡江大學碩士生）		發表者⑤：蔡 錫勳 （淡江大學副教授） 題 目：安倍政權の「誇りある日本」と村上春樹の小さな秘密
11:10—11:30	發表者④：曾 秋桂 （淡江大學教授） 題 目：村上春樹文学のメディアム としての「うなぎ」 口 譯：劉 于涵（淡江大學碩士生）		發表者⑥：劉 曉慈 （熊本大學博士生） 題 目：村上春樹『国境の南、太陽の西』論 —「渦」、「竜巻」、「雨」から「砂漠」へ—
11:30—11:40	討 論 時 間		討 論 時 間
11:40—13:00	午 餐		

<p>11:50—12:50</p>	<p>第四場 論文海報発表 【驚聲大樓大廳】</p> <p>発表者①：劉 于涵（淡江大學碩士生） 題 目：『ねじまき鳥クロニクル』における「現実」 —メディウムの井戸を手がかりにして—</p> <p>発表者②：郭 雅涵（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』における「猫」の意味</p> <p>発表者③：趙 羽涵（淡江大學碩士生） 題 目：村上春樹「踊る・ダンス」関連作品群における異同と変貌 —トータル的な視点から見て—</p> <p>発表者④：陳 羿潔（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』におけるカラスと呼ばれる少年の役割</p> <p>発表者⑤：張 嘉雯（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』における蝶の象徴 —カフカとナカタと佐伯という三人を中心に—</p> <p>発表者⑥：呂 函螢（東吳大學碩士生） 題 目：「踊る小人」における欲望</p> <p>発表者⑦：陳 奕潔（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』における幽霊</p> <p>発表者⑧：黃 雅婷（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』における神社の一考察 —神社での出来事を中心に—</p> <p>発表者⑨：張 維芬（淡江大學碩士生） 題 目：『海辺のカフカ』におけるカフカの心の葛藤 —「父親を殺し、母と姉と交わる」を中心に—</p>	<p>第六場 論文発表 【T311 教室】</p> <p>主持人：北島 徹 （開南大學教授）</p> <p>発表者⑩：范 淑文 （台灣大學教授）</p> <p>題 目：『スプートニクの恋人』に 仕組まれているすみれの 「文書」—メディウムとし ての機能—</p> <p>発表者⑪：葉 麥 （熊本大学博士生）</p> <p>題 目：村上春樹『海辺のカフカ』 論—甲村図書館の役割を 中心に—</p>
<p>13:00—14:20 13:00—13:05 13:05—13:25 13:25—13:45</p>	<p>第五場 論文発表【3樓驚聲會議廳】</p> <p>主持人：齋藤 正志 （中國文化大學副教授）</p> <p>発表者⑦：山根 由美恵 （広島国際大学非常勤講師）</p> <p>題 目：妻の〈自立〉／「母」との 相剋—「レーダーホーゼ ン」、「眠り」、「ねじまき鳥 クロニクル」</p> <p>口 譯：趙 羽涵（淡江大學碩士生）</p> <p>発表者⑧：林 雪星 （東吳大學副教授）</p> <p>題 目：『ねじまき鳥クロニクル』に おけるコンピュータという メディア</p> <p>口 譯：張 修齊（淡江大學碩士生）</p>	

13:45—14:05	<p>発表者⑨:内田 康 (淡江大學助理教授)</p> <p>題 目:〈他者〉〈分身〉〈メディアム〉 — 『ダンス・ダンス・ダンス』から『ねじまき鳥クロニクル』へ—</p> <p>口 譯:郭 雅涵(淡江大學碩士生)</p>	<p>発表者⑫:葉 蕙 (翻譯家/馬來西亞拉曼大學講師)</p> <p>題 目:『1Q84』における媒介者 — 〈ふかえり〉の靈媒としての働きを中心に—</p>
14:05—14:20	討論時間	討論時間
14:20—15:15	<p>第七場 論文發表 【3樓驚聲會議廳】</p> <p>主持人:蘇 文郎 (政治大學教授)</p>	<p>第八場 論文發表 【T311教室】</p> <p>主持人:邱 若山 (靜宜大學副教授)</p>
14:20—14:25		
14:25—14:45	<p>発表者⑬:賴 錦雀 (東吳大學教授)</p> <p>題 目:語彙から見た日本語教育教材としての村上春樹の可能性—「螢」を例に—</p> <p>口 譯:黃 雅婷(淡江大學碩士生)</p>	<p>発表者⑮:齋藤 正志 (中國文化大學副教授)</p> <p>題 目:メディアムとしての「沙羅」—『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』における暗闇と光明—</p>
14:45—15:05	<p>発表者⑭:許 均瑞 (銘傳大學助理教授)</p> <p>題 目:朝日新聞社の「WEBRONZA+」で語られる「村上春樹」</p> <p>口 譯:張 嘉雯(淡江大學碩士生)</p>	<p>発表者⑯:廖 育卿 (淡江大學助理教授)</p> <p>題 目:村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』論—「色彩のない」多崎つくると木元沙羅を中心に—</p>
15:05—15:15	討論時間	討論時間
15:15—15:25	茶 敘 時 間	
15:25—16:05	<p>基 調 演 講(2)</p> <p>主持人:曾 秋桂(淡江大學教授)</p> <p>講 者:小森 陽一(東京大学教授)</p> <p>講 題:村上春樹文学におけるメディアム</p> <p>口 譯:王 嘉臨(淡江大學助理教授)</p>	【3樓驚聲會議廳】
16:05—16:15	茶 敘 時 間	
16:15—17:20	<p>第九場 圓桌會議</p> <p>主持人:彭 春陽(淡江大學副教授兼主任)</p> <p>主 題:村上春樹文学におけるメディアム</p> <p>口 譯:李 文茹(淡江大學助理教授)</p> <p>與談者①:小森 陽一(東京大学教授)</p> <p>與談者②:柴田 勝二(東京外国語大学教授)</p> <p>與談者③:楊 炳菁(北京外國語大學副教授)</p> <p>與談者④:森 正人(熊本大学名誉教授)</p> <p>與談者⑤:葉 蕙(翻譯家/馬來西亞拉曼大學講師)</p>	【3樓驚聲會議廳】
16:15—16:20		
16:20—16:25		
16:25—16:30		
16:30—16:35		
16:35—16:40		
16:40—16:45		
16:45—17:20	討論時間	

17：20—17：30	閉幕式 主持人：彭 春陽（淡江大學副教授兼主任）	【3樓驚聲會議廳】
18：00—20：00	懇親會	【福格大飯店 淡水區學府路89號】

主辦 淡江大學日本語文學系・村上春樹研究室
協辦 行政院國家科學委員會・台灣日本語文學會
協力 致良出版社・瑞蘭國際出版

（【3樓驚聲會議廳】主會場，備有同步口譯。）